

## 協働事業報告書

事業の名称	新しい公共を共に考えよう2011		
団体名・氏名	日本災害救援ボランティアネットワーク	関係課(G)名	参画・協働推進グループ
事業費	237,556円	市の負担額	31000円

事業の目的及び内容	(目的)「新しい公共」について、西宮市においても、「参画と協働の社会」の推進のため、市民やNPO、企業や行政などの関係者が集まり、今後の西宮市のまちづくりについて意見交換を行うことを目的とする。	
	(内容) 第1部：基調講演「新しい公共」市民が主役のまちづくり 講師：福嶋浩彦消費者庁長官 第2部：6つのグループに分かれてワークショップ テーマ「こんな西宮にしたい」など	
	(市民活動団体等の役割) 講師との交渉、開催チラシ作成、ファシリテーターの募集、など	(市の役割) 市政ニュース等への広報、行政職員への参加呼びかけ、会場の手配

	市民活動団体等	市
協働事業の成果・効果	準備段階において、市の担当者(参画と協働)と何度も打ち合わせを行うことによって、NPOとして何を担当してやっていかなければいけないかという役割分担がはっきりとわかったのがとてもよかったです。また、当日の運営においても、会場の準備役、講師のお迎え役、受付役、進行役、など、行政とNPOがうまく役割を分担し連携しながら行えたことが成功につながったと思います。来場者は約60名でした。	福嶋消費者庁長官の講演は、「新しい公共」という考え方を非常に分かりやすく説明するもので、長官の豊富な経験に基づいた非常に興味深い内容であったため、アンケートでも好評であった。 福嶋長官を講師として呼びできたのは、提案者に繋がりがあったため、長官には講演後のワークショップにも加わって頂くことができ、事業効果を高めることができたことは、協働事業であったことによるものだと考える。
課題	当初の案では、NPO、企業、行政などの関係者を均等に集める予定でしたが、企業の参加者が少なかったのと、NPOも限られた団体の参加になったのがとても残念でした。もう少し事前のアプローチを行えばよかったですと思っています。	講演会だけではなく、ワークショップで議論を深めることで、参加者のテーマに対する理解が深まり、満足度は高くなると考えられるが、参加申込時点でのハードルが高いため、来場者数が伸びなかった。

注1 事業実施が確認できる資料(写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレット等)を添付してください。

注2 事業の成果・効果欄には来場者数、実施日数等の数値に表れる実績の記載をお願いします。

注3 印の箇所は関係課(G)で記入します。

# 自己評価書

## (特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク)

事業の名称	新しい公共を共に考えよう2011 ～市民が主役のまちづくりを目指して～	
団体名・氏名 関係課(G)	特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク	
自己評価欄(該当する選択肢に をつけてください。)		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由(左記で3,4を回答した場合に記入)
	②. 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施によ り期待した成果を 上げることができ たか	1. 期待どおり	主な理由(左記で3,4を回答した場合に記入)
	②. 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあっ たか	①. 非常にあった	主な理由  準備から事業当日の開催までを考えると、NPO 単独では開催できなかったと思います。特に会場 の手配や講師の対応、広報活動や全体のスケジ ュール管理など、市と協働させていただくことによ って事業が実現できたと思います。
	2. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	参加者のアンケート(別紙集計)によれば、第1部の基調講演も第2部のワー クショップも8割以上の方が有意義だったと評価をしていただきました。内容的 にはまずまずではなかったかと思えます。ただ、今回の事業だけで終わらせて しまうのではなく、この事業をきっかけに是非次のステップにつなげていき たいと考えています。「西宮のまち」をテーマに、市民、NPO、企業、大学、行 政などの様々な分野の方々に集まってもらい、本音で語り合っていける「市民 のつどい(仮称)」のようなものを是非企画・開催していきたいと思っています。	

## 自 己 評 価 書 ( 参 画 ・ 協 働 推 進 グ ル ー プ )

事業の名称	新しい公共を共に考えよう2011 ～市民が主役のまちづくりを目指して～	
団体名・氏名 関係課(G)	特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク 参画・協働推進グループ	
自己評価欄（該当する選択肢に をつけてください。）		
1. 計画どおりに 実施できたか	1. できた	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	② 概ねできた	
3. あまりできなかった		
4. ほとんどできなかった		
2. 事業実施によ り期待した成果を 上げることができ たか	1. 期待どおり	主な理由（左記で3, 4を回答した場合に記入）
	② 概ね期待どおり	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
3. 協働で事業実 施した効果はあっ たか	① 非常にあった	主な理由  「新しい公共」をテーマにした事業を行政主導ではなく、NPO 団体である提案者の主導で実施したことで、市民にテーマをより身近に感じてもらうことができ、非常に効果があったと考える。
	2. あった	
3. あまりなかった		
4. ほとんどなかった		
4. その他、評価 すべき点、反省す べき点	<p>行政からも市職員が参加し、市民と共に西宮について考える機会となった点は、大変有意義であった。</p> <p>「新しい公共」を担うと期待される NPO の方々も多く参加され、市民の方々も熱心に意見を出されており、市民啓発にも効果があったと考える。</p>	